

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

□ 宮崎県第16週の発生動向

・定点医療機関からの報告総数は1,218人(定点あたり32.7)で、前週比101%と横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と咽頭結膜熱であった。減少した主な疾患はインフルエンザと手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

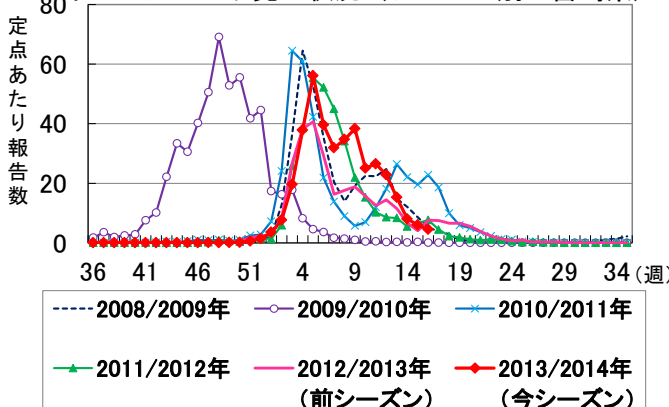
・報告数は265人(4.5)で前週比75%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(7.8)の約6割である。小林(11.0)、中央(10.0)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の20%、6~9歳が28%、10~14歳が21%、15~19歳が7%、20歳代~50歳代が17%、60歳以上が7%を占めた。

【感染性胃腸炎】

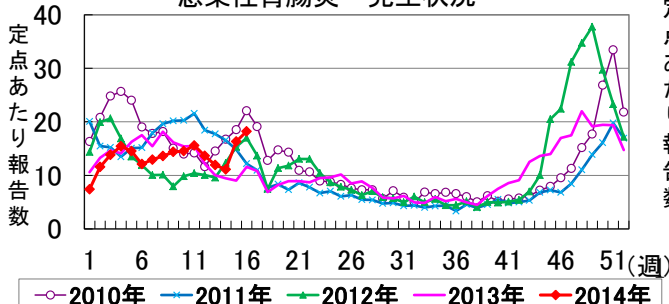
・報告数は656人(18.2)で前週比112%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(14.7)の約1.2倍である。高千穂(38.0)、延岡(34.3)、小林(32.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

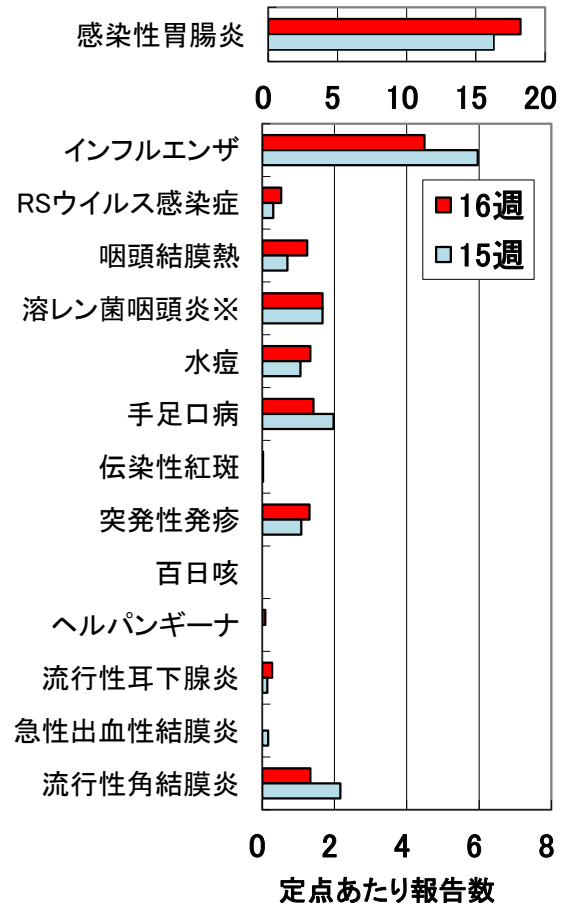
インフルエンザ発生状況(シーズン別・宮崎県)



感染性胃腸炎 発生状況

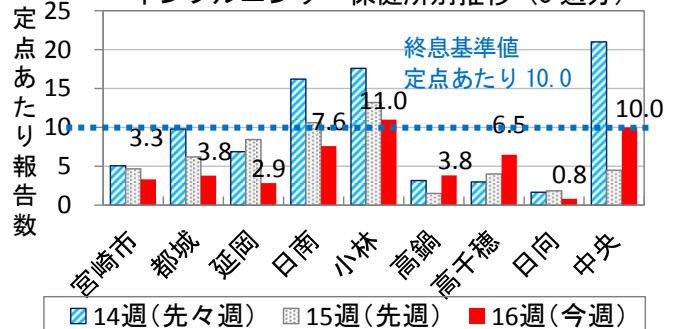


《前週との比較》

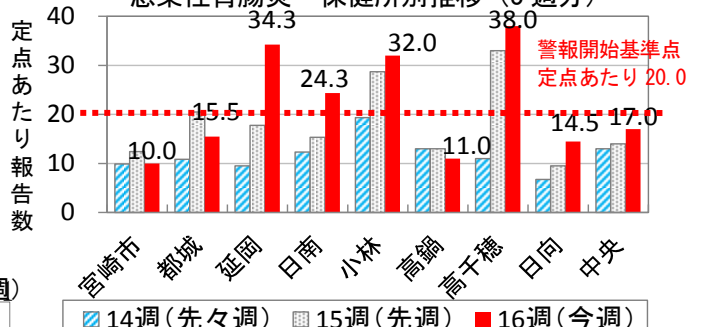


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



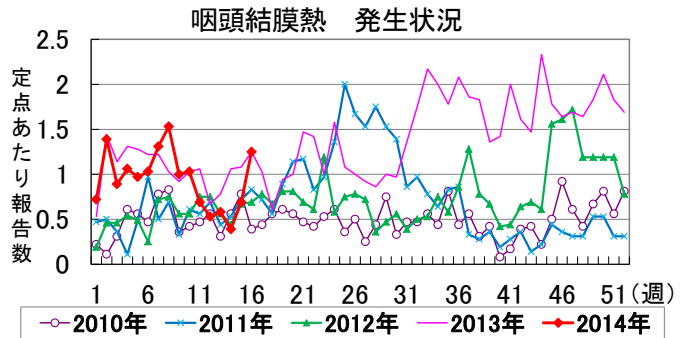
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



【咽頭結膜熱】

・報告数は45人(1.3)で前週比180%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(0.73)の約1.7倍であった。中央(6.0)保健所からの報告が多く、警報レベル(定点あたり3.0)を超えた。年齢別では6ヶ月から4歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：宮崎市保健所管内から1人、高鍋保健所管轄内から4人報告された。患者は1歳が4名、20歳代が1名であった。いずれも群別不明。

□ 流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	感染性胃腸炎(34.3)
日南	感染性胃腸炎(24.3)
小林	感染性胃腸炎(32.0)
高鍋	なし
高千穂	感染性胃腸炎(38.0)
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(6.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)

■ 全数把握対象疾患 (16週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 5 例。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： 報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	肺結核	呼吸困難
			80歳代	女	尿路結核	発熱
			80歳代	男	肺結核	痰
		都城	40歳代	男	頸部リンパ節結核	頸部腫脹と疼痛
			80歳代	男	疑似症患者	咳、痰、発熱、呼吸困難

■病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 26 年 4 月 20 日までに検出）

□ 細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	5～9	男	2014.4.4	百日咳疑	咽頭ぬぐい液	2014.4.15
<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4:i:1,2)	70歳代	女	2014.4.2		便	2014.4.11
<i>Salmonella</i> Infantis(O7:r:1,5)		女	2014.4.7		便	2014.4.11
EHEC(O157:H7 VT1,2)	0～4	男	2014.4.10	EHEC疑、腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、発熱、HUS	便	2014.4.15
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	0～4	男	2014.4.10		便	2014.4.18

○ 0～4歳の男児から腸管出血性大腸菌（EHEC）O157:H7, VT1, 2が検出された。現在、馬刺しを原因とするEHECの食中毒事例が東北地方を中心に広域で発生している。国立感染症研究所および全国の地方衛生研究所は馬刺し事例との関連性を調べるため、IS-printing system（O157の迅速遺伝子解析手法）のデータを共有している。当所でも今回検出されたO157についてIS-printingを実施したが、馬刺し事例とは異なる遺伝子パターンであった。

□ ウイルス

報告なし

■全国第15週の発生动向

定点医療機関あたりの患者報告総数は15.1で、前週比94%と減少した。今週増加した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病であった。減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

インフルエンザの報告数は20,618人（4.2）で、前週比68%と減少した。青森県（9.0）、山形県（8.8）、山梨県（8.5）からの報告が多く、年齢別では、5歳以下が全体の33%、6～9歳が18%、10～14歳が11%、15～19歳が4%、20歳代～50歳代が27%、60歳以上が7%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は18,123人（5.8）で、前週比114%と増加した。宮崎県（16.3）、大分県（13.6）、熊本県（11.5）からの報告が多く、年齢別では1歳～3歳が約4割を占めた。

□ 全数把握対象疾患（全国第15週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	347例				
3類感染症	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	68例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	10例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	つつが虫病	1例	デング熱	7例	マラリア	2例
	レジオネラ症	11例				
5類感染症	アメーバ赤痢	18例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	1例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	8例
	ジアルジア症	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例
	梅毒	18例	破傷風	2例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例
	風しん	3例	麻しん	14例		

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第16週(04月14日～04月20日)

疾病名		第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	352	265	53	38	20	38	55	23	13	5	20
	定点あたり	5.97	4.49	3.31	3.80	2.86	7.60	11.00	3.83	6.50	0.83	10.00
RSウイルス 感染症	報告数	11	19	3	2	8					6	
	定点あたり	0.31	0.53	0.30	0.33	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	25	45	10		8	8		7	2	4	6
	定点あたり	0.69	1.25	1.00	0.00	2.00	2.67	0.00	1.75	2.00	1.00	6.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	60	60	14	3	13	11		10		9	
	定点あたり	1.67	1.67	1.40	0.50	3.25	3.67	0.00	2.50	0.00	2.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	587	656	100	93	137	73	96	44	38	58	17
	定点あたり	16.31	18.22	10.00	15.50	34.25	24.33	32.00	11.00	38.00	14.50	17.00
水痘	報告数	38	48	4	5	9	5	11	9		4	1
	定点あたり	1.06	1.33	0.40	0.83	2.25	1.67	3.67	2.25	0.00	1.00	1.00
手足口病	報告数	71	51	23	1	6	6	2	2		8	3
	定点あたり	1.97	1.42	2.30	0.17	1.50	2.00	0.67	0.50	0.00	2.00	3.00
伝染性紅斑	報告数	1	1	1								
	定点あたり	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	39	47	19	5	8	3	4	4		4	
	定点あたり	1.08	1.31	1.90	0.83	2.00	1.00	1.33	1.00	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		3			1					2	
	定点あたり	0.00	0.08	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	10	2	3	1			1		2	1
	定点あたり	0.14	0.28	0.20	0.50	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.50	1.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	8	8								
	定点あたり	2.17	1.33	2.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	6	5	1					4			
	定点あたり	0.86	0.71	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～16週)

2類感染症	結核	62例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	4例
	つつが虫病	5例	ポツリヌス症	1例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例
	梅毒	5例	破傷風	1例	麻しん	3例

()内は今週届出分、再掲